

会 の 趣 旨

これからの算数・数学教育を考える会は、京都府・市を中心に広く近畿圏の方々と、算数・数学教育のあり方について議論・交流する会です。

日頃の学校現場での算数・数学の授業実践を持ち寄り、指導の改善につなげたり、新しい教育内容・方法の考案・検証を行っていくことを目的としています。

算数・数学教育に関心のある先生、教員を目指す学生・高校生、一般の方々のご参加をお待ちしています。

日時

2020年11月27日（金）

18：00～19：00 事例発表

19：00～19：30 教育最新事情

プログラム Zoomを利用したオンライン開催

18：00～18：30 事例発表1

理数接続の視点からみた5年「振り子の動き」の実践

佐々木三央（京都市立乾隆小学校 教諭）

18：30～19：00 事例発表2

小学校第6学年を対象とした算数科におけるスクラッチの実践

上田浩甫希（京都教育大学数学領域専攻 学生）

津田真秀（京都教育大学附属京都小中学校 教諭）

19：00～19：30 教育最新事情

小学校算数と中学校数学をつなぐ ―説明から証明へ―

黒田恭史（京都教育大学教育学部数学科 教授）

対象 小・中・高等学校教員、学生・高校生、一般

申込先

URL(QRコード)にアクセスして
お申し込みください。

<https://forms.gle/KVB3on55S5YCHhDx7>



問い合わせ

黒田恭史（京都教育大学教授）
ykuroda@kyokyo-u.ac.jp

※参加申し込みができない場合は、上記の問い合わせ先までご連絡ください。

第 8 回

「これからの 算数・数学教育を考える会」